

仕様書番号
YESS3400-3J04

矢崎ブランチ(MPC-B・EM-MPC-B)

仕様書

矢崎エナジーシステム株式会社

電線開発センター

静岡県沼津市大岡2771番地
電話(055)924-2242

1. 適用範囲

この仕様書は、600V以下の配線工事に用いる矢崎ブランチ(MPC-B・EM-MPC-B)について適用する。
(但し、耐火ケーブルを用いる非常回路は除く)

2. 種類及び準拠規格

矢崎ブランチは、JCS 4376 : 2015、4427 : 2016に準じたもので、種類は表-1による。

表-1 種類

得意先	品名	矢崎記号	準拠規格	備考
一般	矢崎ブランチ (MPC-B)	MPC-B	JCS 4376 : 2015	
一般	矢崎ブランチ (EM-MPC-B)	EM-MPC-B	JCS 4427 : 2016	

3. 材料、構造及び加工方法

矢崎ブランチ(MPC-B・EM-MPC-B)の材料、構造及び加工方法は次の各項によるものとする。

3.1 ケーブル

幹線ケーブル及び分岐線ケーブルは、JIS C 3605 600Vポリエチレンケーブル(記号 : 600V CV
・600V CE/F)に準じた構造の単心ケーブル又は、それらを2~4条より合わせたものとする。
ケーブルのより合わせは、Sよりとし、そのピッチは層心径の100倍以下とする。

3.2 分岐接続

幹線ケーブルと分岐線ケーブルとの分岐接続(以下接続という)は、導体に有害な損傷を与えないようにし、かつ、次の各号により行うものとする。

- (1) コネクタは、銅又は銅合金を導電材料とし、圧縮接続に適した構造のものとする。
なお、コネクタは使用中有害な腐食又は亀裂を生じる恐れのないものとする。
- (2) 接続は、幹線ケーブルの導体を切断せずに行い、かつ、接続部導体の引張荷重を20%以上減少させないものとする。
- (3) 分岐線は指定長に切断し、接続に要する接続しろを含むものとする。
(有効長 = 指定長 - 接続しろ長さ)

3.3 モールド処理

3.2項の接続部の上に、原則として黒色ビニル(600V CVの場合)又は黒色耐燃性ポリエチレン(600V CE/Fの場合)によるモールドを行うものとし、次の各号による。

- (1) モールドによる被覆厚さは、幹線ケーブル絶縁体厚さとシース厚さを加えた値以上とし、使用上有害なキズや気泡があってはならないものとする。
- (2) モールド後の分岐部の寸法は、付図-1-1、付図-1-2のとおりとする。

3.4 接地線の取付

接地線の取付指定がある場合は、JIS C 3307 600Vビニル絶縁電線(記号 : IV)又は、JIS C 3612 600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線(記号 : IE/F)をケーブルに添わせ、テープ等により適当な間隔で固定する。

なお、接地線の分岐接続は3.2項に準じ、絶縁処理には絶縁電線の絶縁体と同色のテープ巻きを施す。

3.5 頭部処理及び吊上ジグの構造

頭部処理および吊上ジグ付きのブランチケーブル構造は、付図-2のとおりとする。
プーリングアイ付きブランチケーブルの場合は、付図-2のとおりとする。

4. 線心の識別
線心の識別は幹線ケーブル、分岐線ケーブルとも原則として、ストライプ等により表面から識別できる方法とする。
5. ケーブルの寸法公差
各分岐間および水平部分の寸法公差は±0.2%とする。但し、最小公差は±3cmとする。
6. 検査
検査については、外観、導通、絶縁抵抗(メガ測定器)の各試験を行い、特性および試験方法は表-2の通りとする。ただし、耐電圧(空中)については弊社の抜き取り基準に基づき実施する。表-2の特性No. 6~10は変更時の評価試験とする。
7. 包装
包装は、幹線ケーブルおよび分岐線ケーブルの端末部を密封した後、ドラム又は束巻きとする。
8. ドラムまたは束、及びボルトコネクタ付属品の表示
ドラム・束・段ボールには、適当な方法で次の事項を表示する。
 - (1) 品名
 - (2) 件名
 - (3) 幹線No.又はタイプ
 - (4) 幹線ケーブルの品種及びサイズ
 - (5) 幹線ケーブルの長さ
 - (6) 質量
 - (7) ドラム回転方向(ドラム巻きの場合のみ)
 - (8) 製造業者名又はその略号
 - (9) 製造年月
9. 取扱注意事項
 - 9.1. ケーブルグリップでのちょう架時の注意事項
 - ・ケーブルグリップを使用する場合は、ちょう架後24時間以内にケーブルを支持して下さい。
 - ・ケーブルグリップにて吊り上げる際には、ケーブルグリップに限度荷重を超えるような大きな負荷を掛けないようにして下さい。ケーブルグリップが外れてしまう可能性があります。
 - 9.2. プーリングアイ敷設時の取扱注意事項
 - ・プーリングアイ付きケーブルを吊り上げる際には、衝撃を与えないでください。
 - ・上階からプーリングアイ付きケーブルを落とし込む場合は、チェーンブロック・ガイドロープ・ブレイキ治具等補助治具を使用し、ケーブルに衝撃を与えないでください。
 - ・プーリングアイ付きケーブルの弛み調整時は、チェーンブロック等補助治具を外さず、衝撃を与えない様ゆっくりと調整しながら弛みを取って下さい。
尚、ケーブル落下の恐れがありますので、本結束するまでチェーンブロック等の補助具を外さない様にして下さい。
 - ・同一立坑内に複数のケーブルを吊り上げ・落とし込む際、必ず1幹線ケーブル毎に本結束を行って下さい。結束を行わず次の幹線ケーブルを作業すると、ケーブル同士が接触し衝撃が加わる場合があります、ケーブル落下の恐れがあります。

10. 特性

特性は表-2に示す方法で試験を行ったとき、表-2のとおりとする。

表-2

No	項目		特性		試験方法		
			600V CV	600V CE/F			
1	外 観		形状、寸法、傷、相識別、分岐線等に異常がないこと		JIS C 3005 4.1による		
2	構 造		仕様書通りの事、モールド寸法・分岐間隔等		JIS C 3005 4.3による		
3	導 通		断線がないこと		JIS C 3005 4.5による		
4	耐電圧※1	5.5、8	空中(1分間)	3000V	JIS C 3005 b)による		
		14	空中(1分間)	4000V			
		22	空中(1分間)	4000V			
		38~100	空中(1分間)	5000V			
		150~325	空中(1分間)	6000V			
5	絶縁抵抗		200MΩ以上		JIS C 3005 4.7.1 a) 又は4.7.1 b)による (高絶縁抵抗計またはメガ測定器を使用)		
6	ヒートサイクル		25サイクル目上昇値：75℃以下 26~125サイクル目上昇値：25サイクル目測定値に8℃を加えた値以下		JIS C 2810 7.4による		
7	難燃性		60秒以内に自然に消えること		JIS C 3005 4.26.2 b)による		
8	吊上ジグ特性	ケーブルグリッパ	耐荷重		抜けないこと	JCS 4376 7.8 a)による	
			耐電圧※1	5.5、8	空中(1分間)	3000V	JCS 4376 7.4 b)による
				14	空中(1分間)	4000V	
				22	空中(1分間)	4000V	
				38~100	空中(1分間)	5000V	
				150~325	空中(1分間)	6000V	
絶縁抵抗		200MΩ以上		JCS 4376 7.8 c)による			
ブーリングアイ	引張強さ	幹線サイズ(導体断面積mm ²)×線心数×19.6(N)×4(安全率)以上		内線規程 3165-3による			
9	常温	引張強さ	10MPa以上	8MPa以上	JIS C 3005 4.16による		
		伸び	120%以上	350%以上			
	加熱	引張強さ	加熱前の値の85%以上	加熱前の値の80%以上	JIS C 3005 4.17による		
		伸び	加熱前の値の80%以上	加熱前の値の65%以上			
	耐油	引張強さ	浸油前の値の80%以上	—	JIS C 3005 4.18による		
		伸び	浸油前の値の60%以上	—			
	耐寒		試験片が破壊しないこと(冷却温度：-15℃±0.5℃)		JIS C 3005 4.22による		
	加熱変形		厚さの減少率50%以下(加熱温度：120℃±3℃)	厚さの減少率10%以下(加熱温度：75℃±3℃)	JIS C 3005 4.23による		
	発煙濃度		—	6回の試験の結果、平均値が150以下であること。ただし、始めの3回の値がいずれも150以下である場合は3回で合格とする。	JIS C 3612 附属書Aによる。		
燃焼時発生ガスの酸性度		—	pH4.3以上	JIS C 3666-2による			
燃焼時発生ガスの導電率		—	10μS/mm以下	JIS C 3666-2による			

※1 耐電圧：幹線と分岐線のサイズが違う場合は、細いケーブルサイズの電圧を適用する。

※2 No.6~10の試験は変更時の評価試験とする。

11. 製造上での最短寸法

- 製造上、図面指示寸法と異なる設計の場合があります。

【頭部吊上ジグ最短寸法】

頭部吊上ジグリング中心から、直下分岐部までの最短寸法は表-3にて設計します。但し、分岐線のサイズや組み合わせによっては、最短寸法が表-3の値より長くなる場合があります。詳しくは幹線系統図の御確認をお願い致します。

【分岐間隔の最短寸法】

表-4にて最短寸法で設計します。

- 図面指示寸法と最短寸法との差は、最短寸法直下の分岐間隔長にて調整しています。

表-3 頭部吊上ジグ直下分岐最短寸法

幹線サイズ (mm ²)	吊上ジグ型番	最短寸法 (m)
14	OS	0.50
22		
38	OAS	0.50
	OAL	0.65
60	1S	0.60
	1L	0.70
100	2S	
	2L	
150	2S	0.70
	2L	0.90
200	3L	0.95
250	3L	
325	4L	

表-4 分岐間隔最短寸法

幹線サイズ (mm ²)	最短寸法 (m)
14	0.50
22	
38	
60	0.70
100	
150	
200	0.90
250	
325	

注1)

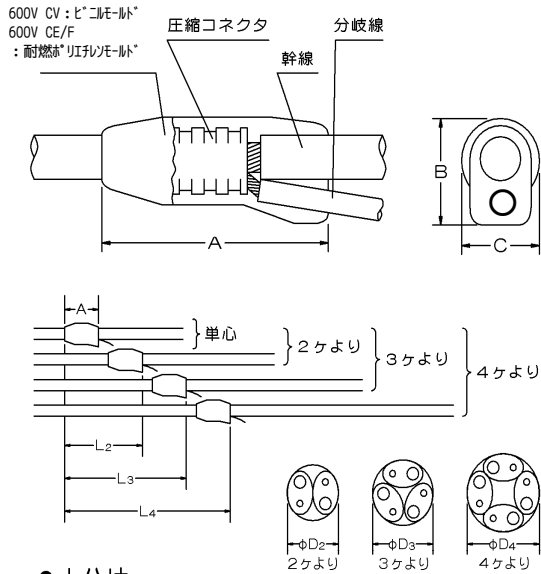
グリップ直下の分岐線が幹線サイズと同等以上のサイズで、グリップ側にある場合、最短寸法は1.0mとなります。

注2)

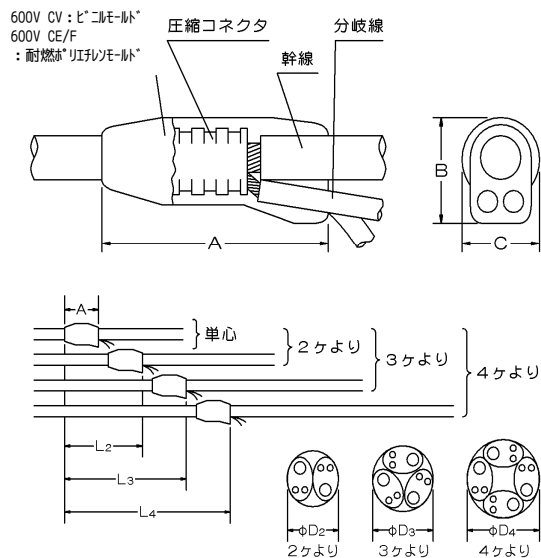
2箇所連続で分岐箇所が発生し、分岐方向が向き合う場合、幹線サイズ14~60mm²の最短寸法は、0.70mとなります。

付図 1-1 分岐部の構造(スリムブランチ)

1本分岐



2本分岐



3~4本分岐

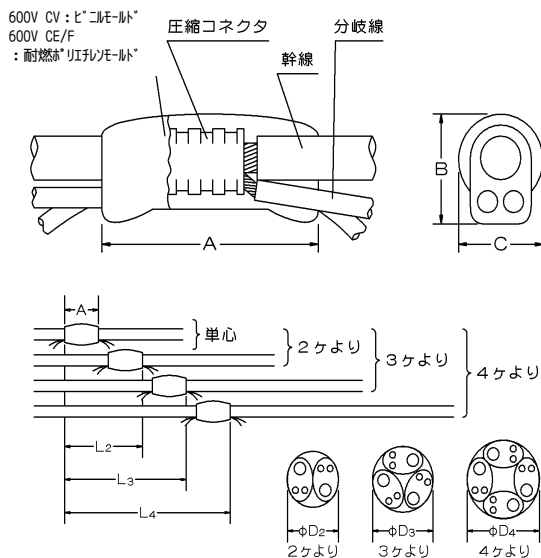


表-5 各部の寸法

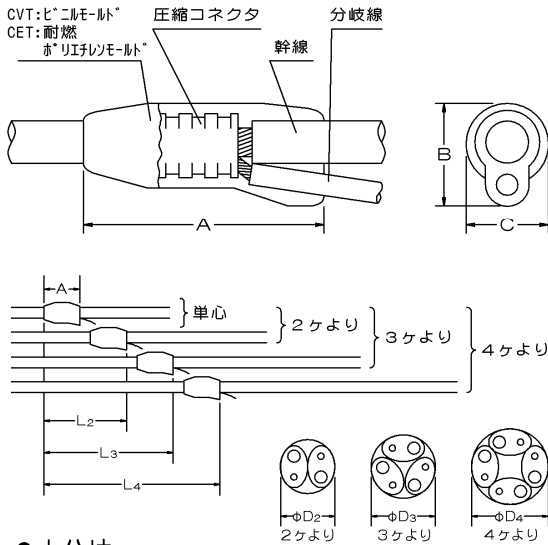
ケーブルサイズmm ²	各部の寸法(約mm) 注1注2										
	幹線	分岐線	A	B	C	D ₂	D ₃	D ₄	L ₂	L ₃	L ₄
1 本 分 岐	14	5.5~14	63	26	20	30	35	45	140	210	290
		5.5~8	63	26	20	35	40	50	140	210	290
	22	14	73	31	23	35	40	50	160	240	330
		22	73	31	23	40	45	55	160	240	330
	38	5.5~22	73	31	23	40	45	55	160	240	330
		38	83	35	26	50	55	65	180	270	370
	60	5.5~22	83	35	26	50	55	65	180	270	370
		38~60	103	39	31	60	65	75	220	330	450
	100	5.5~38	103	39	31	55	65	75	220	330	450
		60	113	45	38	65	75	85	240	360	490
	150	100	113	48	40	75	85	110	240	360	490
		5.5~38	113	45	38	65	75	85	240	360	490
200	60	113	48	40	75	85	110	240	360	490	
	100~150	133	56	50	90	100	110	280	420	570	
250	5.5~38	113	48	40	75	85	100	240	360	490	
	60	133	52	46	90	100	110	280	420	570	
2 本 分 岐	14	5.5~8	73	31	23	40	45	55	160	240	330
		14	83	35	26	45	50	60	180	270	370
	22	5.5~8	73	31	23	40	45	55	160	240	330
		14	83	35	26	45	50	60	180	270	370
	38	5.5~8	73	31	23	50	55	65	160	240	330
		14	83	35	26	50	55	65	180	270	370
	60	22	103	39	31	60	65	75	220	330	450
		5.5~14	83	35	26	55	60	70	180	270	370
	100	38	113	45	38	65	75	95	240	360	490
		5.5~14	103	39	31	65	70	80	220	330	450
	150	22~38	113	45	38	65	75	95	240	360	490
		5.5~14	113	45	38	70	80	100	240	360	490
200	60	150	58	50	100	110	130	330	510	690	
	5.5~14	113	48	40	75	85	110	240	360	490	
250	22~38	133	52	46	80	90	100	280	420	570	
	60	133	56	50	105	110	120	280	420	570	
3 ~ 4 本 分 岐	14	5.5~14	86	35	30	55	60	70	200	300	410
		5.5~14	86	35	30	60	65	75	200	300	410
	22	22	106	44	40	65	70	85	240	360	490
		5.5~14	86	35	30	65	70	80	200	300	410
	38	22	106	44	40	70	75	90	240	360	490
		5.5~14	106	44	40	75	80	95	240	360	490
	60	5.5~22	106	44	40	85	90	105	240	360	490
		22	136	53	47	85	95	115	300	450	610
	100	38	136	53	47	95	105	125	300	450	610
		5.5~22	136	53	47	95	105	125	300	450	610
	200	5.5~22	136	53	47	105	115	135	300	450	610
	250	5.5~38	166	56	55	125	135	160	370	560	760

注1) 階高より分岐線が長い場合は、分岐部外径(D₂~D₄)上に隣り合う分岐部の分岐線が重なるため、分岐部外径に分岐線外径を含めた配線スペースが必要となる場合があります。

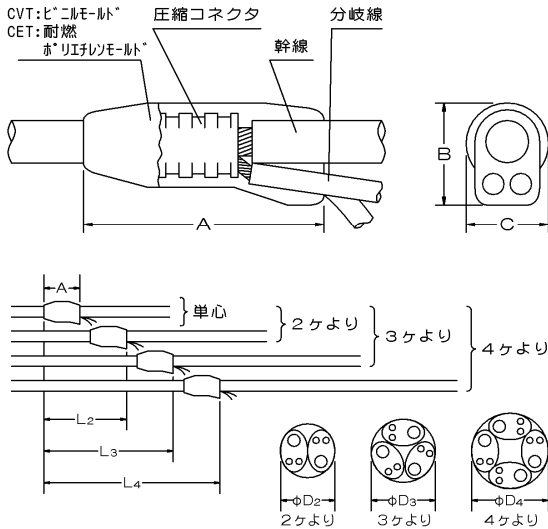
注2) 表-5の分岐部外径(D₂~D₄)は参考値となります。

付図1-2 分岐部の構造(従来型ブランチ)

1本分岐



2本分岐



3~4本分岐

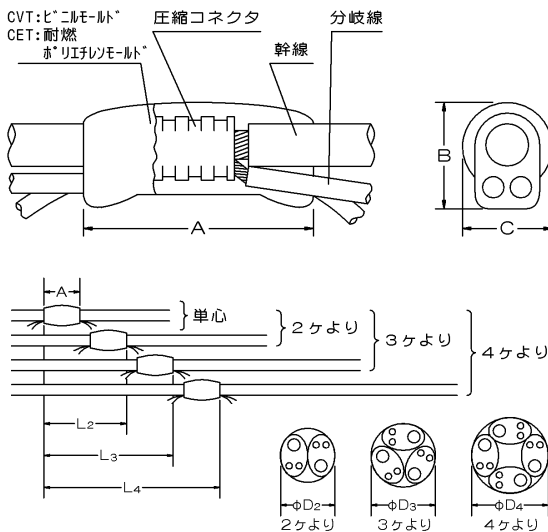


表-6 各部の寸法

ケーブルサイズmm ²	各部の寸法(約mm) 注1注2										
	幹線	分岐線	A	B	C	D ₂	D ₃	D ₄	L ₂	L ₃	L ₄
1本分岐	14	5.5~14	70	31	23	35	40	50	150	230	310
	22	5.5~14	70	31	23	40	45	55	150	230	310
		22	80	35	26	40	45	55	170	260	350
	38	5.5~22	80	35	26	45	55	60	170	260	350
		38	100	40	31	55	60	70	220	340	460
	60	5.5~22	100	40	31	55	60	70	210	320	430
		38	100	40	31	55	60	70	220	340	460
		60	110	40	31	70	75	85	240	370	500
	100	5.5~22	110	46	38	65	75	85	230	350	470
		38~60	110	49	41	70	80	90	240	370	500
		100	130	56	48	80	90	100	280	430	580
	150	5.5~22	110	49	40	75	85	95	230	350	470
38		110	49	41	75	85	95	240	370	500	
60		130	56	48	85	95	110	280	430	580	
100~150		150	65	55	100	110	120	330	510	690	
200	5.5~38	130	52	45	85	90	110	270	410	550	
	60	130	56	48	90	100	120	280	430	580	
	100~150	150	65	55	100	115	130	330	510	690	
	200	200	75	70	140	160	180	430	660	890	
250	5.5~14	130	55	48	90	100	120	270	410	550	
	22~38	130	56	48	90	100	120	280	430	580	
	60~100	150	65	55	100	120	140	330	510	690	
	150~200	200	83	62	140	150	170	430	660	890	
325	250	200	75	70	140	150	170	430	660	890	
	14~60	200	75	70	120	140	160	430	660	890	
2本分岐	14	5.5~14	80	35	28	40	50	60	180	280	380
	22	5.5~14	80	35	28	45	50	60	180	280	380
		22	100	40	31	50	55	60	220	340	460
	38	5.5~14	80	35	28	55	60	75	180	280	380
		22	100	40	31	55	60	75	220	340	460
	60	14	100	40	31	60	70	80	220	340	460
		22~38	110	49	41	70	75	85	240	370	500
	100	60	150	58	50	75	85	110	330	510	690
		14~38	110	49	41	75	80	90	240	370	500
		60	150	58	50	80	90	110	330	510	690
	150	14	110	49	41	85	95	110	240	370	500
		22~38	130	56	48	85	95	110	280	430	580
60		150	58	50	90	110	130	330	510	690	
200	100	200	75	70	110	120	140	430	660	890	
	14~38	130	56	48	90	95	110	280	430	580	
	60	150	58	50	95	110	140	330	510	690	
250	100	200	75	70	110	120	150	430	660	890	
	14	130	56	48	90	100	120	280	430	580	
	22~38	150	65	55	100	110	130	330	510	690	
325	60~100	200	75	70	110	130	150	430	660	890	
	14~22	150	65	55	100	120	130	330	510	690	
	38	200	75	70	120	140	160	430	660	890	
3本及び上下分岐	14	5.5~14	80	36	30	55	60	70	180	280	380
	22	5.5~14	80	36	30	60	65	75	180	280	380
		22	100	48	40	65	70	85	220	340	460
	38	5.5~14	80	36	30	65	70	85	180	280	380
		22	100	48	40	70	75	90	220	340	460
	60	5.5~22	100	48	40	75	80	95	220	340	460
		5.5~14	100	48	40	85	90	110	220	340	460
	100	22	130	56	50	90	100	120	280	430	580
		38	130	56	50	100	110	130	280	430	580
	150	5.5~22	130	56	50	100	110	130	280	430	580
		38	130	56	50	110	120	140	280	430	580
	200	5.5~22	130	56	50	110	120	140	280	430	580
38		130	56	50	120	130	150	280	430	580	
250	5.5~38	160	65	58	130	140	160	350	540	730	
325	5.5~22	160	65	58	140	160	180	350	540	730	

注1) 階高より分岐線が長い場合は、分岐部外径(D₂~D₄)上に隣り合う分岐部の分岐線が重なるため、分岐部外径に分岐線外径を含めた配線スペースが必要となる場合があります。

注2) 表-6の分岐部外径(D₂~D₄)は参考値となります。

付図2 頭部処理及び吊上ジグの構造

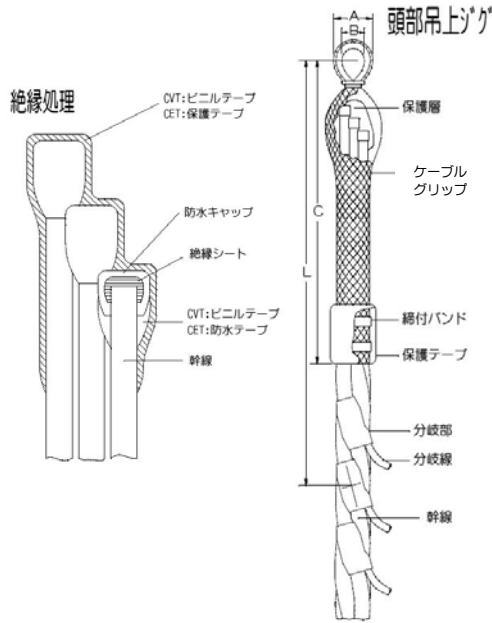


表-7 各部の寸法

型番	各部の寸法 約mm						限度 荷重 kgf
	A	B	C	L (最小)			
				2ヶより	3ヶより	4ヶより	
OS	31	16	300	450	500	550	80
OL	31	16	400	600	650	700	100
OAS	31	16	300	450	500	550	100
OAL	31	16	400	600	650	700	200
1S	45	24	350	550	600	700	100
1L	45	24	400	650	700	750	200
2S	50	28	450	650	700	800	200
2L	50	28	650	850	900	1000	400
3L	50	28	650	850	950	1050	400
4L	50	28	650	900	950	1050	400

表-8 形状

幹線サイズ mm ²	形状		
	2ヶより	3ヶより	4ヶより
14	OS	OS	OS
22	OS	OS	OAS
	OL	OL	OL
38	OAS	OAS	1S
	OAL	OAL	1L
60	1S	1S	1S
	1L	1L	1L
100	1S	2S	2S
	1L	2L	2L
150	2S	2S	3L
	2L	2L	3L
200	3L	3L	4L
250	3L	3L	4L
325	4L	4L	

注：ケーブルグリッパの型番は、原則としてケーブル重量等により当社で設定させて頂きます。但し、分岐線のサイズや組み合わせによっては、L(最小)寸法が表-7の値より長くなる場合があります。詳しくは幹線系統図の御確認をお願い致します。

中間引上治具

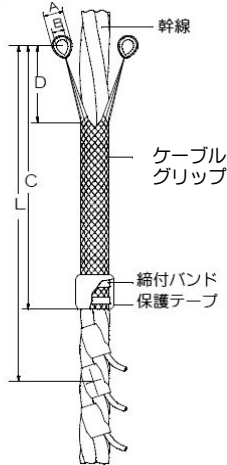


表-9 各部の寸法

型番	各部の寸法 約mm							限度 荷重 kgf
	A	B	C	D	L (最小)			
					2ヶより	3ヶより	4ヶより	
OL	29	16	650	250	850	900	950	200
1L	29	16	650	250	850	900	1000	400
2L	45	24	750	275	950	1000	1100	400
3L	45	24	850	300	1050	1150	1250	400
4L	45	24	900	325	1150	1250	1300	400

表-10 形状

幹線サイズ mm ²	形状		
	2ヶより	3ヶより	4ヶより
14	OL	OL	OL
22	OL	OL	OL
38	OL	OL	1L
60	1L	1L	1L
100	1L	2L	2L
150	2L	2L	3L
200	3L	3L	4L
250	3L	3L	4L
325	4L	4L	—

注：ケーブルグリッパの型番は、原則としてケーブル重量等により当社で設定させて頂きます。

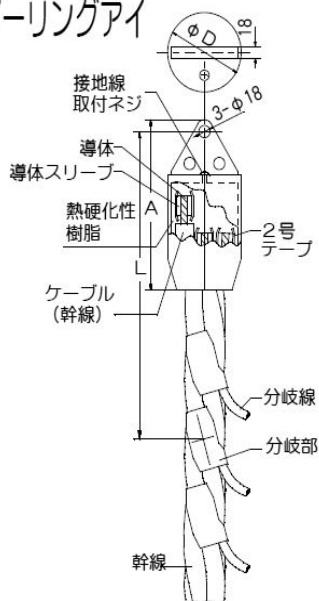
表-11 各部の寸法

型番	ケーブル		各部の寸法 約mm								
	幹線サイズ mm ²	分岐線の 向き	2ヶより			3ヶより			4ヶより		
			A	ΦD	L(最小)	A	ΦD	L(最小)	A	ΦD	L(最小)
PL1	22	下向	270	70	450	270	70	500	270	70	550
		上向			600			600			700
	38	下向	270	70	450	270	70	500	270	70	550
		上向			600			600			700
PL2	60	下向	270	70	450	270	70	500	270	70	/
		上向			700			700			
	100	下向	288	95	500	288	95	550	288	95	650
		上向			700			800			1100
150	下向	288	95	500	288	95	550	288	95	650	
	上向			700			800			1100	
200	下向	288	95	500	288	95	600	288	95	/	
	上向			800			900				/
250	下向	288	95	500	288	95	800	288	95	/	
	上向			800			/				/
PL3	200	下向	290	127	/	/	/	290	127	750	
		上向								1200	
	250	下向	290	127	/	/	/	290	127	750	
		上向								1200	
325	下向	290	127	550	290	127	700	290	127	800	
	上向			800			1000			1200	

〔注1〕ケーブルの貫通穴径は、分岐部の外径およびプーリングアイ本体の外径より大きくしてください。尚、分岐線が上向きの場合は、分岐線の外径もプラスして貫通穴を設定してください。

〔注2〕プーリングアイの許容荷重(垂直部分の自重)は、幹線サイズ(导体断面面積mm²)×線心数×19.6(N)となります。

プーリングアイ



矢崎ブランチは一般のケーブルと同様に扱うことができます。矢崎ブランチの一般的な布設方法は次の通りです。

作業手順

1 ドラム場の準備

EPS（電気用パイプシャフト）の最下階内か、その近傍に十分な広さのドラム場を設定し、ドラムジャッキを用意する。

ケーブル通過路の障害物を取り除き、曲部・立上り部等必要な箇所にコロ又は釣車を準備する。ケーブルドラムを開梱しジャッキアップする。

2 ウインチ場の準備

EPS内か、その近傍にウインチ場を設定しウインチを設置する。

3 ケーブルの吊上げ

各場に必要人員を配置し、連絡をとりながらウインチを操作してケーブルを引き上げる。

4 ケーブルの引止

天井梁に予め設置したフックに、吊上用ワイヤーネットを吊止める。

5 支持

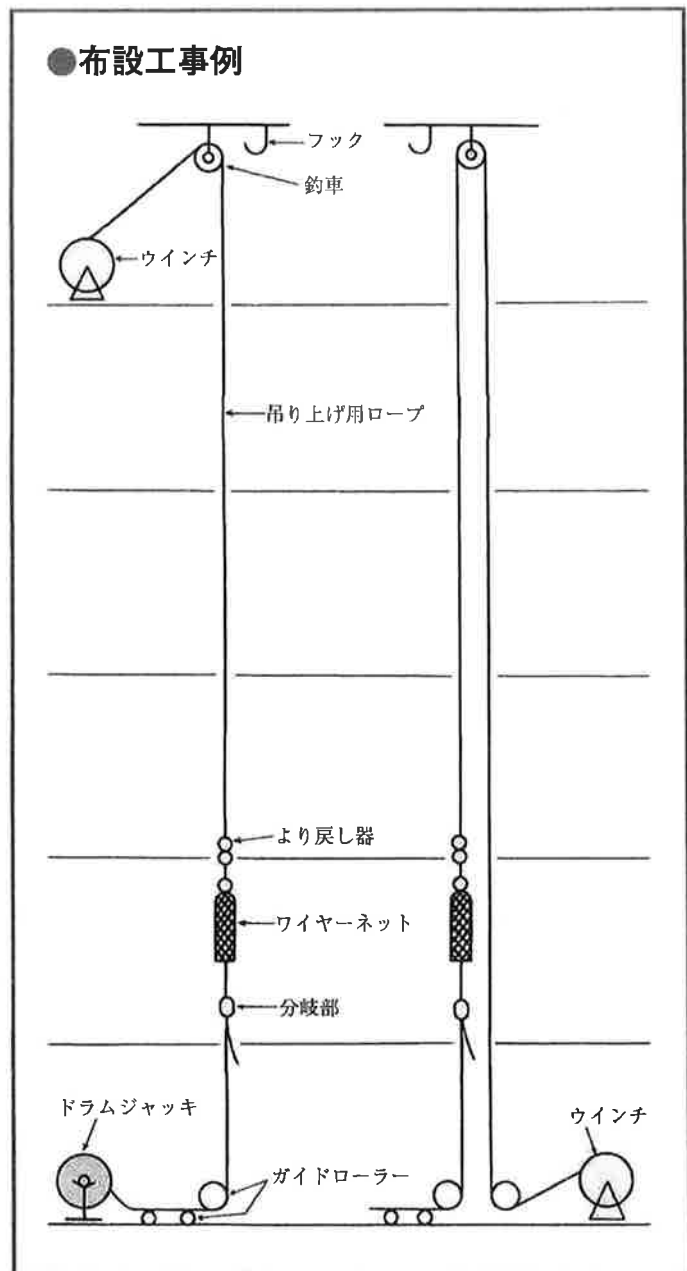
中間支持または床止め支持をする。

6 分岐線の接続

分岐線の端末を電力量計等に接続する。

7 幹線の接続

水平幹線ケーブルとの接続、主幹盤への接続を行う。



布設工事上のご注意

- 1 ドラムの積み降ろしは、ドラムに衝撃を与えぬよう又、誤って高所（トラックの荷台など）から落とさぬよう慎重に取り扱って下さい。
 - ⚠ 衝撃によりドラムが破損し、けがをする恐れがあります。
 尚、ドラムやケーブルの束は、たいへん重いものです。事故を未然に防ぐためにも、無理をせず複数的人员で安全に運搬することを心がけて下さい。
- 2 ケーブルの巻かれたドラムは、ドラムに記載された矢印の方向に転がして下さい。
 - ⚠ 矢印の方向と反対に転がすと、ケーブルがゆるみ、からまることがあります。
- 3 ケーブルの延線は、延線途上の障害物を取り除き、必要によりコロなどを使用して下さい。又、トラックへの布設や、床や壁などの貫通は、ケーブルの被覆や分岐部分を損傷しやすいので、とくに注意して下さい。
 - ⚠ ケーブルの被覆や分岐部分の損傷は、漏電による火災や感電など事故の原因となります。
 尚、床や壁などの貫通は、前もって貫通させるケーブルや分岐部分などの寸法を確認し、それに合った貫通穴を開けておく必要があります。
- 4 分岐付ケーブルの分岐線（幹線に対する枝線）には、無理な力を加えないで下さい。
 - ⚠ 分岐線の断線や分岐部分が接触不良を起こし、分岐付ケーブルとして機能しなくなるばかりか、火災や感電など事故の原因となります。
- 5 ケーブルを吊り上げるためのロープ及び吊り下げるためのフックは、ケーブル質量の4倍以上の荷重に耐えるものを使用して下さい。又、ロープは、使用前に傷やほつれがないことを確認して下さい。ワイヤーネットでの吊り上げ後は、速やかに（24時間以内）クリートやブラケットなどを使用し、規定の間隔にてケーブルを支持して下さい。
 - ⚠ 吊り上げたときの状態（規定の支持がされていない状態）で、長時間にわたり放置されますと、ケーブルが離脱し、ケーブルの破損や人身に関わる事故の原因となります。
- 6 ケーブルの直線接続は、ケーブルを延線する前に、線心の配列を確認し、ケーブル間で線心の配列を合わせて下さい。
 - ⚠ ケーブル間で線心の配列が合っていないと、線心がからみ合いきれいに接続できなくなります。
- 7 配電盤や機器などへのケーブルの接続は、ケーブルの相識別を確認し、確実に行って下さい。
 - ⚠ 誤った接続や不確実な接続は、機器の破損や火災など事故の原因となります。
- 8 ポリエチレン系の絶縁体は、紫外線をきらいます。ケーブルの被覆を取り除いた絶縁体表面は、耐候性のあるビニルテープなどで保護して下さい。
 - ⚠ 紫外線を浴びたポリエチレン系の絶縁体は、硬化しひび割れや剥離などの症状が現れます。

